

今週のセルグループ(赤字) 2月21日(日)~2月27日(土)			
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル北山姉	2/21(日) 礼拝後	LINE 電話	2/14 2名 みことばを思い出し、方向転換しました。
グレイス鈴木千姉	2/26(金) 午後8:30	鈴木宅	2/12 3名 やるべきことは何もしていないのだとわからされて感謝だった。
Gospel鈴木尚姉	2/21(日) 礼拝後	交わり	2/7 2名 事実、やれば必ずできるようになる。
オイコス磯貝姉		LINEで分かち合い	2/14 9名 勇気付けられ、転職活動をする事ができて感謝でした。
からし種磯貝姉	2/25(木) 午前10:00	Zoomで分かち合い	2/4 名 中止
ユース岩下兄	2/21(日) 午後2:45	LINEで分かち合い	1/31 5名 イヤイヤではなく喜んで仕えなさいと語られて、お願いされたことを喜んでできた。
Rock鈴木洋兄	3/3(水) 午後8:30	鈴木宅	2/3 3名 主に助けをいただかなければ立ち行かない。まず自分が常にイエス様につながっていること。
シャローム平岩姉	2/27(土) 午前10:00	平岩宅	1/30 2名 神様がここにおいてくださったので、喜んでここで人のために仕えて行く決意。
なつめやし高橋智姉	2/28(日) 午後3:00	高橋宅	2/14 6名 何かを守ろうとして、必死に説明をしている姿は、主のものとは思えない。
リジョイス杉本姉	2/23(火) 午前10:15	佐尾山宅	2/1 3名 忠告の目的は神様につなげる事にある。
ジョイフル穂刈兄	3/4(木) 午後9:00	Zoomで分かち合い	2/4 4名 言えなかったけど、日々祈って主とつながって言えるようになりました。
アガベ長塚姉	2/28(日) 礼拝後	未定	2/14 4名 セルリーダーのためにお祈りください。
サクセス鈴木勝兄	2/28(日) 礼拝後	テラドロー	2/14 12名 今まで起こったこと、これから起こることの全ては善い事ではない!
リーダーズセル	3/10(水) 午後7:00	Zoomで分かち合い	2/10 22名 セルの建て上げについて分かち合い、学びました。
セル研修	休講		
ビジョン平岩恵兄	2/21(日) 午後1:00	コメダ	2/14 4名 平安心で仕事ができることが、自分にとっての思い描きたい成功している姿だと分った。
worship長塚寛兄	中止		
高校生平岩姉	中止		
中学生梅田姉	2/21(日) 午後0:30	LINEで分かち合い	2/14 3名 良い点を取って喜んでる姿を思い浮かべながら、勉強している。
キッズ2小山姉	中止		
キッズ1芳井姉	中止		
Shine小原姉	2/28(日) 午後3:00	エステル	2/14 5名 セルリーダーのためにお祈りください。
ギデオン芳井兄	2/27(土) 午後6:30	芳井宅	2/13 3名 賛美し続けなさいと言われて本当にそのように生きたいと思われた。
カルバリ野田兄	3/2(火) 午前9:00	野田宅	2/2 6名 自分自身の言えないという問題が明らかになった。
神の家族伊岐見真姉	2/27(土) 午後7:30	LINE 電話	2/13 2名 セルリーダーのためにお祈りください。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会	
		司会	奏楽	奏楽	
今週	2/21(日)	大高愛姉	鈴木千姉	2/25(木)	鈴木千姉
		開始時間 午前10時			
来週	2/28(日)	大高愛姉	鈴木千姉	3/4(木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時			

※ 本日礼拝後、司会、奏楽、音響映像奉仕者ミーティングを行います。

※ 本日から日曜礼拝バイブルスタディがスタートします。(8回連続)
開始時間 午後1時 場所 会堂
受講者には係から直接連絡があります。 祝福をお祈りください。

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルマズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶ ITG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報 NO.1335

2021年2月21日(日)発行 2月第3週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 10時

- ・讚美
- ・祈り
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めてのの方はスクリーンをご覧ください。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りようお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙 第一 4章10節)

日曜日は教会へ



みことばを行う

「ヤコブ2：15-17

兄弟か姉妹に着る物がなく、毎日の食べ物にも事欠いているようなときに、あなたがたのうちのだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。温まりなさい。満腹になるまで

食べなさい」と言っても、からだに必要な物を与えなければ、何の役に立つでしょう。同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。」

親切な冷蔵庫

アメリカのニューヨーク市には、昨年から街の路上のあちらこちらにカラフルな冷蔵庫が置かれています。冷蔵庫の中には、地域の店や住民が持ち寄った食べ物が入っていて、24時間誰でも無料で持って行くことができます。カラフルな絵は活動に賛同するアーティストが描いたものです。この冷蔵庫は「親切な冷蔵庫」（フレンドリー・フリッジ）と呼ばれています。コロナ禍で職を失った人を助けるために始まった活動で、多くの人々が喜んで利用しているそうです。冷蔵庫を設置したい人は、自分で冷蔵庫を用意して、町の店に電源をつなぐ許可を取ります。ボランティアの人が1日に何回か冷蔵庫の掃除をし、食料を補充します。まれに

冷蔵庫ごと盗まれたり、壊されたりするそうですが、聞き知った人々から被害額以上の寄付が集まるということです。自分が経営しているレストランの料理をわざわざ多めに作って入れる人もいますし、お店の廃棄食品を減らすことにも役立っているということです。ある利用者は、「困っていても、なかなか『助けて』とは言えない。だから誰にも何も聞かれないで利用できることが重要なんです。」と書いていました。複雑な手続きもなく、人を簡単に助け、また助けてもらうことのできる良いアイデアだと思いました。コロナ禍で世界全体がなんとなく疲弊していると感じる中で、人の心の温かさを感じて明るい気持ちになりました。

困っている人を助ける

困っている人を助けるために路上に冷蔵庫を置く活動は、世界のどこから始まったのかは明確にはわからないようですが、調べてみると、サウジアラビアのある人が、貧しい人が物乞いしなくてもいいようにと、路上に冷蔵庫を置いた、という2014年ごろと思われる記事を見つけました。読んだ人が、トルコでも見かけたとか、アラブ社会では普通のことだとかコメントしていましたので、コロナ禍以前から世界の国々で行われていたようです。

聖書には、「収穫した後の落ち穂を拾い集めてはならない。ま

た、あなたのぶどう畑の実を取り尽くしてはならない。あなたのぶどう畑に落ちた実を拾い集めてはならない。それらを貧しい人と寄留者のために残しておかなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。（レビ19：9-10）」とあります。イスラエルの社会では、昔から貧しい人を助ける実際的な習慣がありました。困っている人を助けることは神様のみこころです。

行いのない信仰

ヤコブの手紙を書いたヤコブは、自分に信仰があると思っている人たちに対して、本当の信仰は行いが伴うものだ、と教えました。「だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがなければ、何の役に立つのでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。（ヤコブ2：14）」。例えば、貧しくて毎日の食べ物にさえ困っている人に、「大変ですね。温かくしてたくさん食べてくださいね。」と声をかけたとしても、実際に食べ物を与えないなら、何の役にも立たないのだということです。実際、ヤコブの手紙の受け取り人である教会は、貧しい人々を、何の助けもしないで礼拝から送り出していたようです。神を信じると言うならば、必ず困っている人を助ける行動をするようになるはずだ、とヤコブは指摘したのです。路上に冷蔵庫を置いた人々は、必ずしも真の神様を信じる信仰によって行ったのでは

ないかもしれません。しかし、人を助けるとはこういう実際の行いのことなのだ、と思わされました。

みことばを行う

私たちは神を信じる者ですから、神様のみこころを行いたいと思います。神様のみこころは聖書の「みことば」です。ヤコブは「みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけません。（ヤコブ1：22）」と教えています。私たちはたくさんのみことばを知っていますが、それを実際に行なっているか、と吟味する必要はないでしょうか。たとえば「あなたの父と母を敬え。（出エジプト20：12）」というみことばを知っていますが、実際には両親に会いに行くことをいつも後回しにしていると気づいたら、会いに行ってみましょう。「赦しなさい。（ルカ6：37）」というみことばを知っていますが、実際にはいつまでも憎しみを手放さないでいると気づいたら、まず主の御前で憎んでいたことを悔い改めて、「赦します」と祈りましょう。私たちがみことばを行おうとする時、神様は私たちの行動を助けてくださり、私たちの人生を祝福してくださいます。みことばを行う人になりましょう。